

L7e クラス電気自動車(ミニ EV)

主要モデル スペック・価格・航続距離比較と日本市場参入戦略レポート

▶ セクション 1: 主要 L7e 車種 比較リスト

車種	製造国 / メーカー	最大速度	航程距離	乗員	価格相場 (ユーロ)
Renault Twizy	フランス / Renault	80 km/h	約 2 ベンのモードで 90 km	1+1	約 12,000 ユーロ
Microlino 2.0	スイス / Micro Mobility	90 km/h	90~230 km	2	約 12,500~18,000 ユーロ
XEV Yoyo	イタリア・中国	80 km/h	約 150 km	2	約 13,900 ユーロ
Silence S04	スペイン / Silence	90 km/h	約 149 km	2	約 18,000 ユーロ
KG Mibot	日本 / KG Motors	60 km/h	約 110 km	1	1,000,000 円 (約 7,000 ドル)
ARI 902	ドイツ / ARI Motors	90 km/h	約 200 km	2	約 14,000~16,000 ユーロ

▶ セクション 2: 日本市場の特性

- 小型車市場の激しい競争
 - 車両数の 40%以上が軽自動車
 - 国産作り込みが優勝したディーラー系統
- 行政系統の障壁
 - 軽自動車の優遇税制、サイズ要件が不同
 - ヨーロッパとの裏ルール評価の違い
- 住宅地域の制約 / 駐車場証明等
 - 車使用の部分は優遇されるが、買い手側の理解はまだ薄い

▶ セクション 3: 市場参入戦略

【ステップ 1】: “公共モビリティ、街中インフラ”として手を縁

- 小規模 EV を、地方自治体シェア/観光モビリティ/学校送迎バスとして採用してもらう

【ステップ 2】: “日本型 L7e の構築”

- UNECE L7e 基準を一部接入した日本版を推進
- 保険、駐車場証明、税制を軽自動車相当に等価化

【ステップ 3】: “シニア向けのラストマイル、インフラとの連携”

- 高齢者、多室住宅向けに安全で小型なモビリティを採用
- 電池の V2H 連携や事故相談サービスとの統合モデル

▶ 総括: “L7e、日本での未来は”

- EV のラストワンマイルは L7e を根拠にしている
- 日本では「軽」の改革や「市中のマイクロ移動」を支える新たなラインを構築するチャンス
- 政策・行政・ビジネスモデルが連携すれば、サブカーとしての成立性は高い